

資料 1

令和4年2月22日（火）

第3回いじめ問題対策連絡協議会

2 学期いじめ状況調査報告・いじめ防止の取組



柏市教育委員会 児童生徒課

令和3年度2学期いじめの状況調査報告 (令和3年12月31日現在)

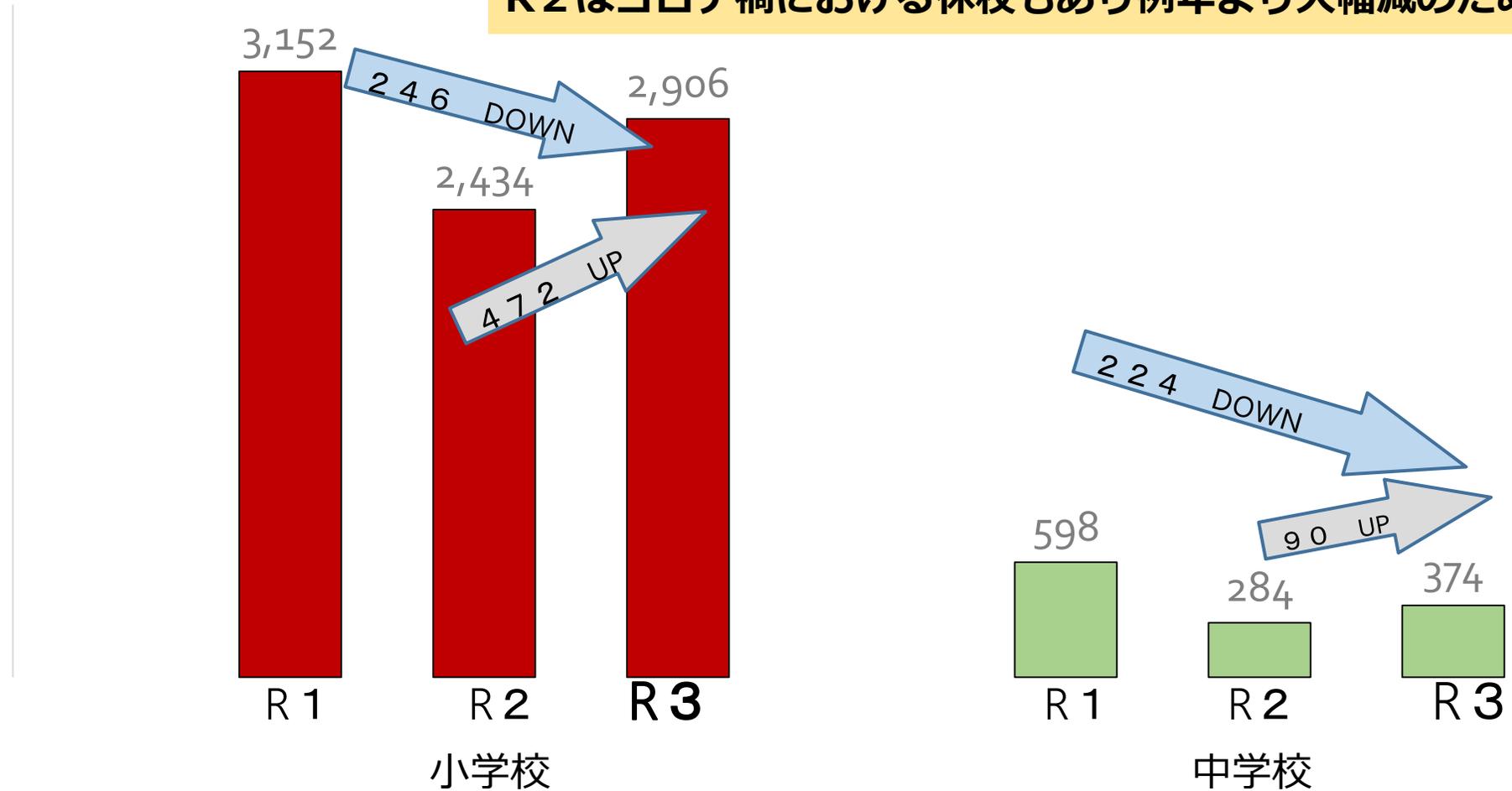
調査対象：柏市内小学校 42校：22,015人
柏市内中学校 21校：10,234人
(生徒数:令和3年5月1日現在)

調査時期：令和3年12月上旬～12月中旬

調査内容：2学期のいじめ認知
学校生活以外で困っていること
令和2年度いじめ未解消追跡調査

いじめ認知件数の直近3年間推移(同時期比較)

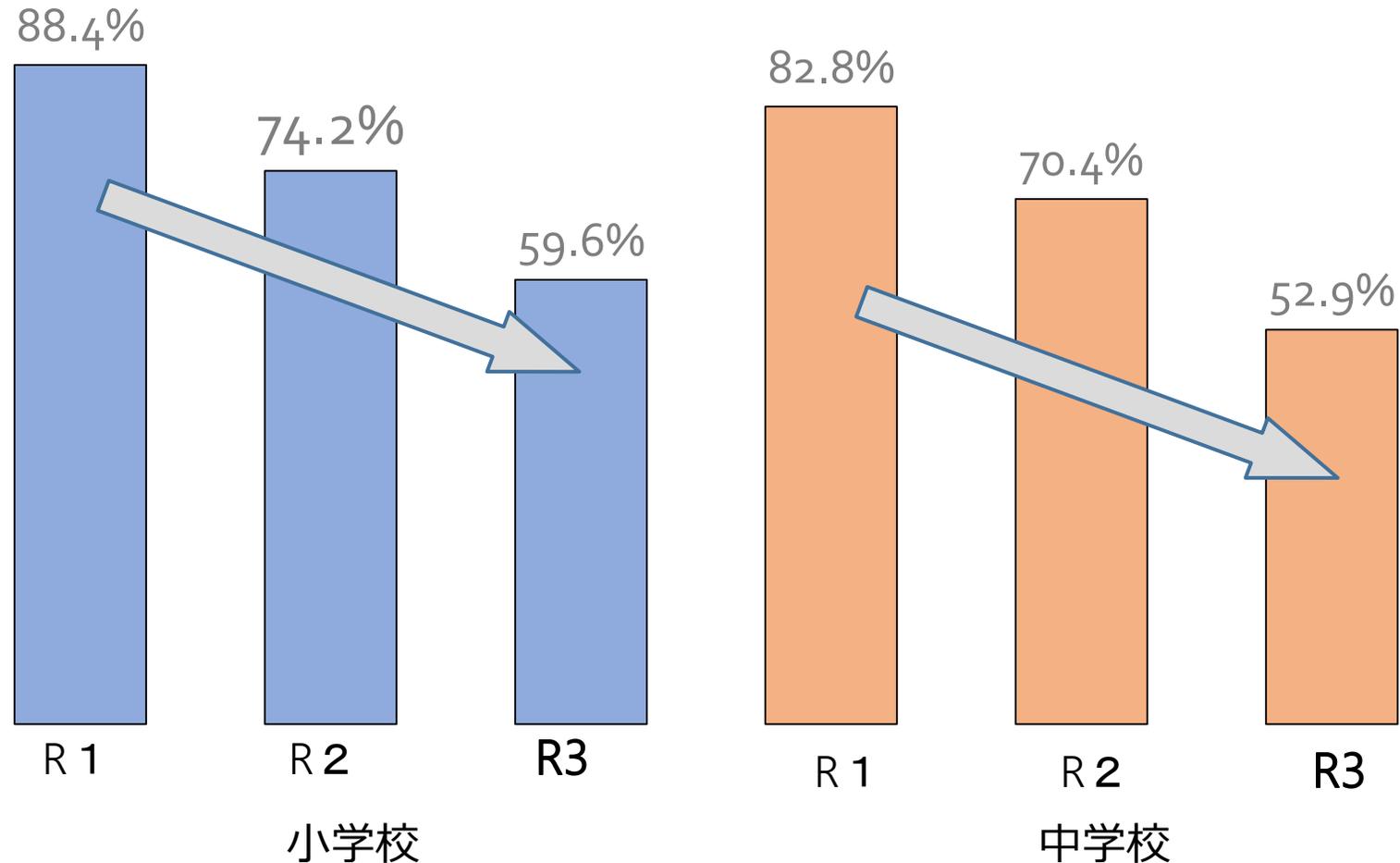
R2はコロナ禍における休校もあり例年より大幅減のためR1と比較



認知件数

- ・令和2年度と比較すると大幅に増加している。また令和元年度との比較ではやや減少している。
- ・直近3年間の比較から、令和2年度のいじめの減少は、約2カ月間の休校の影響があった。

いじめの解消率の直近3年間推移(同時期比較)



解消

- ・ R1からR3にかけて低下している。解消の目安である「3か月」を徹底している。
- ・ 安易に互いの謝罪のみで解決としないよう、各学校へ周知しており、追跡調査を実施している。

2学期いじめの状況調査結果 考察

| | 小学校 | 中学校 | 合計 |
|------|----------|--------|----------|
| 認知件数 | R1 3,152 | R1 598 | R1 3,750 |
| | R2 2,434 | R2 284 | R2 2,718 |
| | R3 2,906 | R3 374 | R3 3,280 |
| 解 消 | R1 2,786 | R1 495 | R1 3,281 |
| | R2 1,808 | R2 200 | R2 2,008 |
| | R3 1,513 | R3 223 | R3 1,736 |
| 未解消 | R1 366 | R1 103 | R1 469 |
| | R2 626 | R2 84 | R2 710 |
| | R3 1,393 | R3 151 | R3 1,544 |

解消率

| | | |
|-----|--------------|---------|
| 小中計 | 52.0% | (73.8%) |
| 小学校 | 59.6% | (74.2%) |
| 中学校 | 52.9% | (70.4%) |

() は昨年度

未解消・解消率

- ・未解消件数の増加に伴い、**解消率が低下**
- ・2学期末未解消は3学期に**追跡調査**を実施

R2はコロナ禍における休校もあり例年より大きいためR1と比較

認知件数

- ・令和2年度と比較すると**大幅に増加**している。また令和元年度との比較では**やや減少**している。
- ・直近3年間の比較から、令和2年度のいじめの減少は、約2カ月間の休校が影響していたことが考えられる。

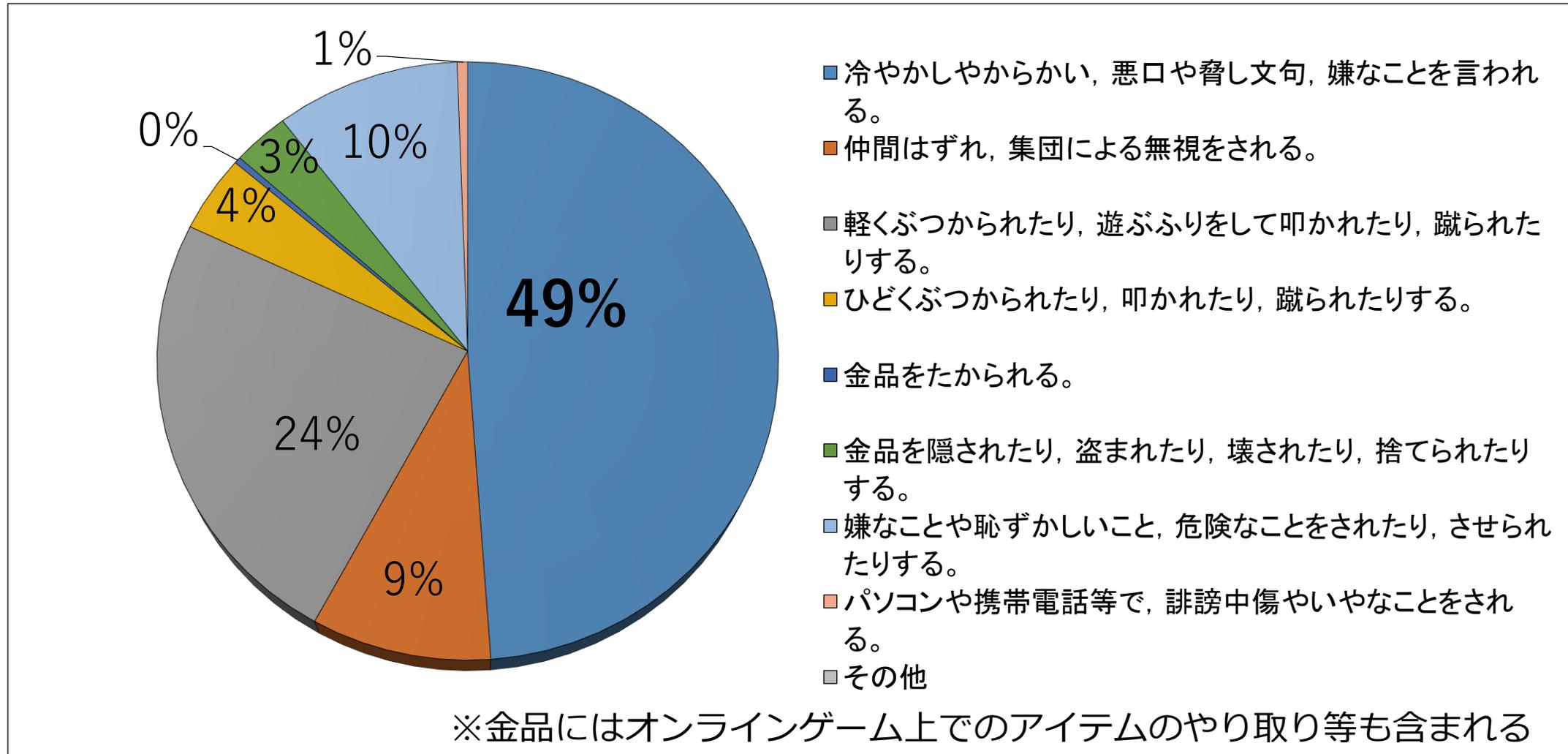
解消

- ・令和2年度と比較すると**大幅に減少**している。**解消の目安である「3か月」を徹底**している。
- ・安易に互いの**謝罪のみで解決**としないよう、**解消に向けた経過の見守り**を各学校へ周知している。

いじめの態様（小学校）

令和3年度2学期いじめ状況調査より

総数 3,376 件

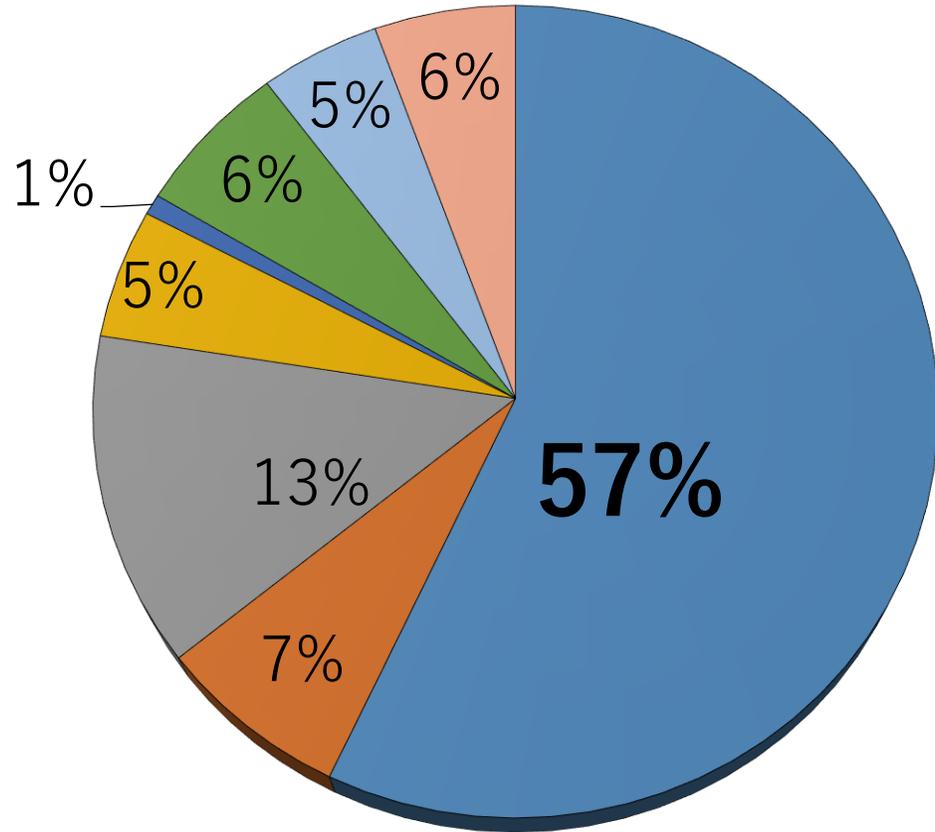


- ・「冷やかしやからかい, 悪口や脅し文句, いやなことを言われる。」が最も多い。
- ・「軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして叩かれたり, 蹴られたりする」が2番目に多く, 暴力行為として注視。

いじめの態様（中学校）

令和3年度2学期いじめ状況調査より

総数 484 件



- 冷やかしやからかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ, 集団による無視をされる。
- 軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして叩かれたり, 蹴られたりする。
- ひどくぶつかられたり, 叩かれたり, 蹴られたりする。
- 金品をたかられる。
- 金品を隠されたり, 盗まれたり, 壊されたり, 捨てられたりする。
- 嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なことをされたり, させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で, 誹謗中傷やいやなことをされる。
- その他

276
35
64
25
4
30
23
27
0
(件)

※金品にはオンラインゲーム上でのアイテムのやり取り等も含まれる

- ・「冷やかしやからかい, 悪口や脅し文句, いやなことを言われる。」が最も多い。
- ・「パソコンや携帯電話等で, 誹謗中傷やいやなことをされる」の項目では, 件数として計上していない, いじめに発展していないトラブルも相談されているため, SNSやスマートフォンの扱い方を今後も啓発していく。

いじめの態様（2学期 複数回答可 同時期比較）

| 区 分 | 小学校 件数 | | | 中学校 件数 | | |
|-----------------------------------|--------|-------|-------|--------|-----|-----|
| | R1 | R2 | R3 | R1 | R2 | R3 |
| 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる | 1,857 | 1,254 | 1,649 | 400 | 201 | 276 |
| 仲間はずれ、集団による無視をされる | 403 | 320 | 307 | 69 | 50 | 35 |
| 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする | 794 | 530 | 810 | 100 | 38 | 64 |
| ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする | 188 | 128 | 142 | 38 | 19 | 25 |
| 金品をたかられる | 39 | 6 | 12 | 5 | 5 | 4 |
| 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする | 173 | 71 | 102 | 33 | 25 | 30 |
| いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする | 371 | 436 | 335 | 31 | 24 | 23 |
| パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる | 20 | 30 | 19 | 34 | 25 | 27 |
| その他 | 128 | 0 | 0 | 20 | 0 | 0 |
| 計 | 3,973 | 2,775 | 3,376 | 730 | 387 | 484 |

- ・合計件数はR2との比較では増加しているものの、R1との比較では減少傾向。
 - ・小学校の「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。」については増加し、要注意。
- ※「金品をたかられる」⇒文房具をねだる、オンラインゲームのアイテムをねだる等が多い。

令和2年度末いじめ追跡調査

昨年度の未解消事案追跡調査を実施

R2年度末いじめ未解消状況 (R3 3/31現在)

| | 児童生徒数 | R2末いじめ認知件数 | 解消 | 未解消 | 解消率 |
|-----|--------|------------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 21,969 | 3,152 | 1,994 | 1,158 | 63.3% |
| 中学校 | 9,968 | 390 | 273 | 117 | 70.0% |



R2年度末いじめ未解消追跡調査 (R3 7/26現在)

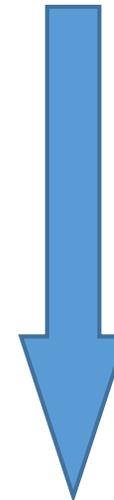
| | 児童生徒数 | R2末いじめ認知件数 | 解消 | 未解消 | 解消率 |
|-----|--------|------------|-------|-----|-------|
| 小学校 | 21,969 | 3,152 | 3,081 | 71 | 97.7% |
| 中学校 | 9,968 | 390 | 385 | 5 | 98.7% |



R2年度末いじめ未解消追跡調査 (R3 12/24現在)

| | 児童生徒数 | R2末いじめ認知件数 | 解消 | 未解消 | 解消率 |
|-----|--------|------------|-------|-----|-------|
| 小学校 | 21,969 | 3,152 | 3,140 | 12 | 99.6% |
| 中学校 | 9,968 | 390 | 390 | 0 | 100% |

未解消を追跡



未解消事案については
継続して支援を実施

【R3年度新規調査】 学校生活以外で困っていること

〈例〉

- 親に兄弟が殴られたり蹴られたりする。
- 赤ちゃんの世話があり宿題が出来ない。
- 兄がいつもご飯を作るが遅くなり、父が怒鳴る。

など



虐待やヤングケアラーの疑い



学校・関係機関と連携し対応

こども福祉課

児童生徒課

SSW

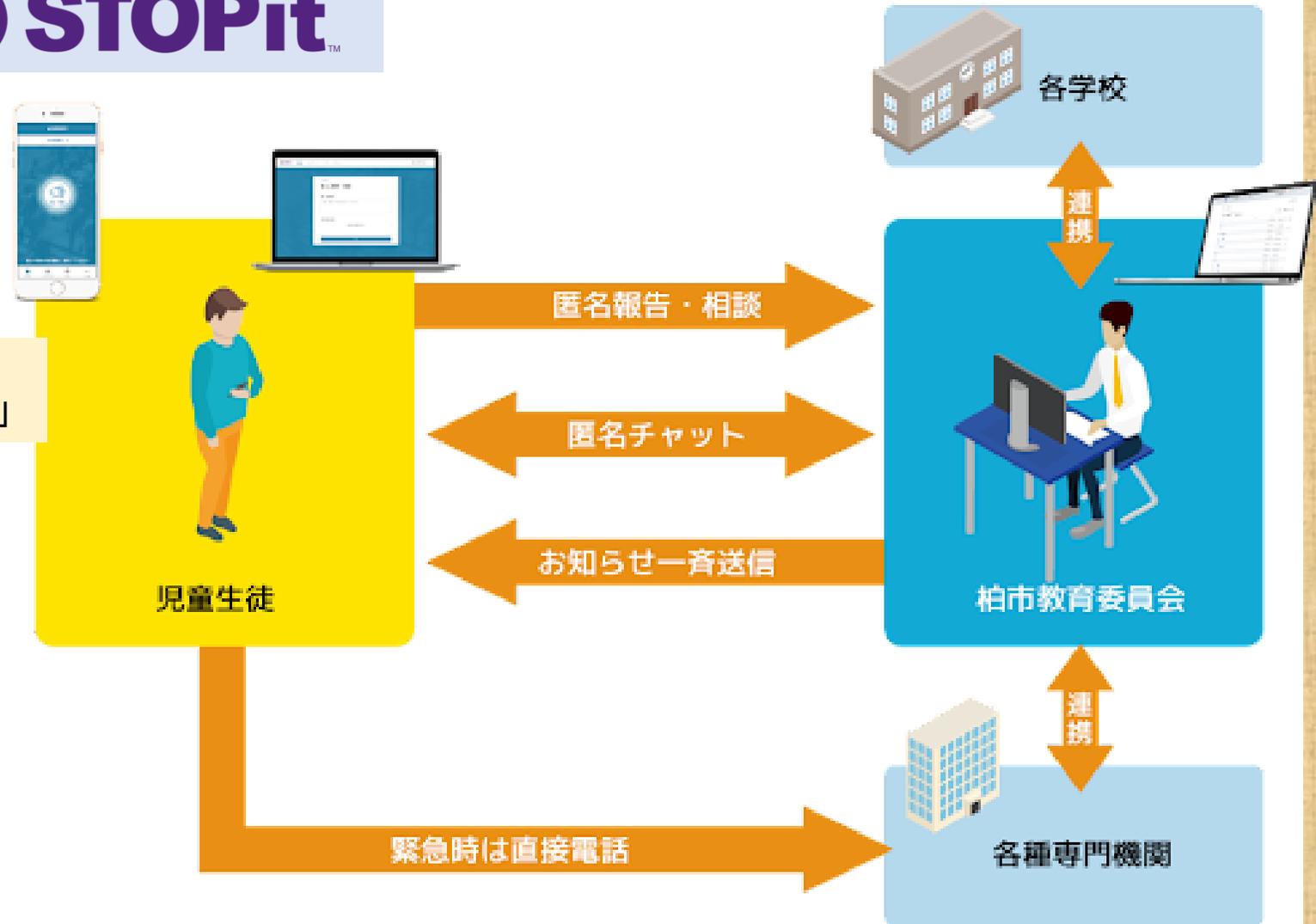
いじめ防止の取組について

① 報告・相談アプリ STOPit™

柏市いじめ防止基本方改訂の基本理念

「子供がいじめを苦しんで自らその尊い命を絶つような事態は何としても防がなくてはならない」

いじめられた生徒が
「誰にも相談できない」状況の
セーフティーネット



いじめ防止の取組について

| ①STOPitの相談状況 | R1年度 3/31現在 | R2年度 3/15現在 | R3年度 1/31現在 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 本人のいじめについて | 22 | 8 | 12 |
| 2. 本人以外のいじめについて | 7 | 3 | 11 |
| 3. 部活動について | 6 | 2 | 2 |
| 4. ネットトラブルについて | 3 | 1 | 3 |
| 5. 教員の指導について | 38 | 30 | 10 |
| 6. 家庭や生活について | 57 | 9 | 6 |
| 7. 学習について | | 14 | 6 |
| 8. 学校生活について | | 15 | 5 |
| 9. 友人関係 | | 20 | 12 |
| 10. 身体的なことについて | | 3 | 17 |
| 11. その他の相談について | | 16 | 9 |
| 合計(件) | 133 | 121 | 93 |

|  STOPit | 相談 件数 |
|--|-------|
| 中学校 | 93 |
| 小学校 | 0 |

| | 相談 件数 |
|--------------|-------|
| やまびこ 電話相談 | 165 |
| Eメール 相談 | 1 |

- ・いじめについての相談はR2年度より増加した。R1年度と比較すると減少している。
- ・教員の指導についての相談は大幅に減少した。児童生徒と教員の関わり方に変化があったことが考えられる。
- ・身体的なことについての相談は大幅に増加している。メンタル面の要素の相談も増加している。
- ・小学校6年生からの相談は0件。直接、身近な大人に相談できる環境づくりへ。

| | |
|------------|--|
| いじめについて | <ul style="list-style-type: none"> ・特定の 人から 嫌ら せを受けてい る。 ・友だちが いじめられ てる。友だちは相談 すのが怖い と言っ て、頼 め て STOPit に相談 した。 |
| 学習について | <ul style="list-style-type: none"> ・勉強をしようと思っ ても、集中が 続かずた ら けてしまう。1 日何時間くらい 勉強すのが ベストなの か? |
| 教員の指導について | <ul style="list-style-type: none"> ・下の 名前呼ぶ をめ てもらいた い。 ・習っ ていない 課題が 出され て困る。 |
| 学校生活について | <ul style="list-style-type: none"> ・絶対 学校に 行な くてはた めなの か? ・同調圧力が 働い て、給食を 残せず困っ てる |
| 友人関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・最近、友だちと関わり が しんどな ってきた。何を やっ ても うま くない。 ・そん な をちゃんと やら ない た ら、どうし ら やら せるこ とが でき るか? |
| 身体的なことについて | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナに 感染し た くない。学校に 行くのが 怖い。 ・自分 が 嫌い。性格を 直したい が 難しい。 |

・友人関係や身体のこと、メンタル面に関する相談など、いじめ以外の多様な相談に対応している。

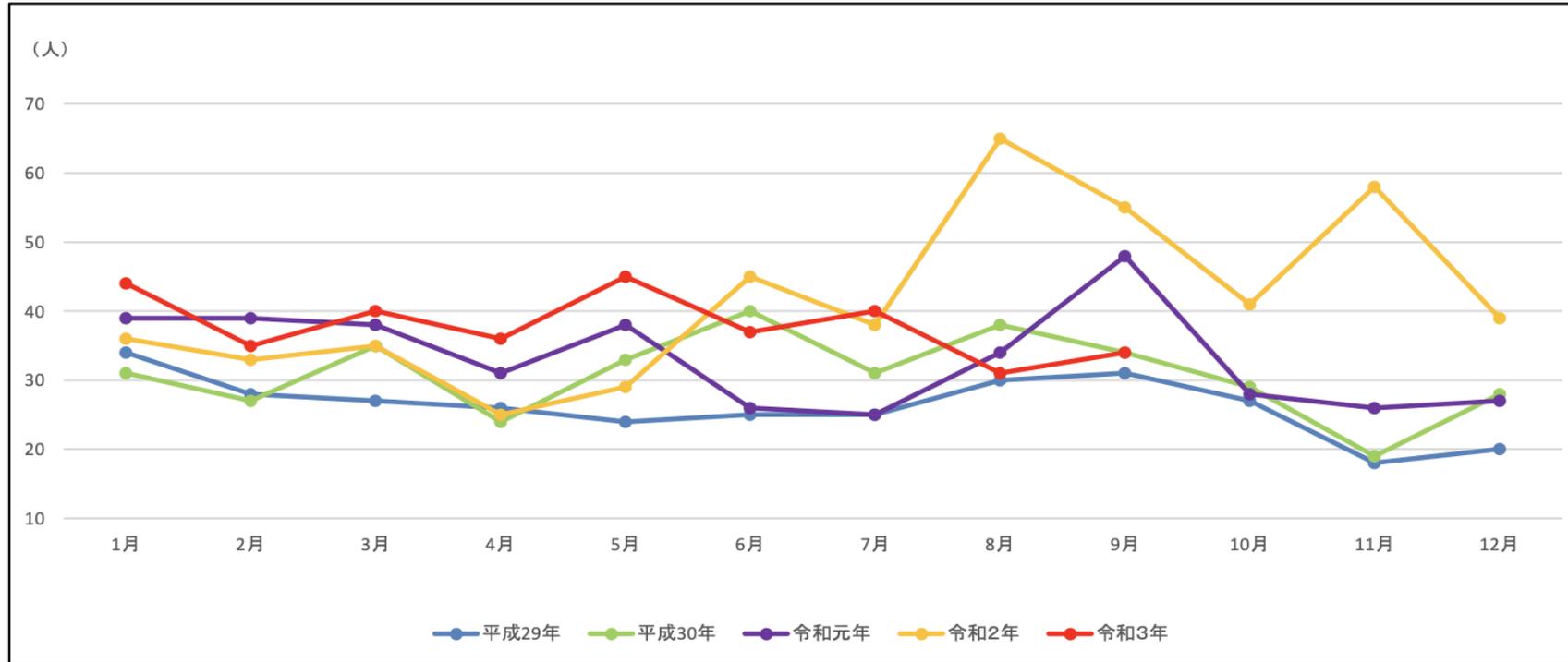
②SOSの出し方教育

一人で悩みを抱え込まず、早めに報告・連絡・相談をできるようにすることを旨としたプログラム

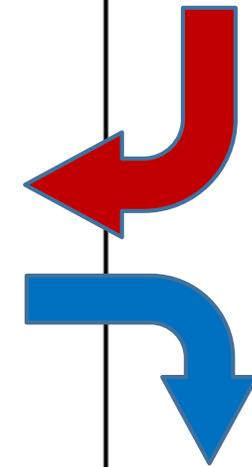
- ・ 中学校 1 年生対象
- ・ 脱いじめ傍観者教育
- ・ オンライン形式・出前授業形式
- ・ STOPitアプリの紹介



コロナ禍における児童生徒の自殺



SOSの出し方教育
が重要となる



教職員・児童生徒
SOSを出された側
の対応の必要性

(人)

| 年度 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 平成29年 | 34 | 28 | 27 | 26 | 24 | 25 | 25 | 30 | 31 | 27 | 18 | 20 | 315 |
| 平成30年 | 31 | 27 | 35 | 24 | 33 | 40 | 31 | 38 | 34 | 29 | 19 | 28 | 369 |
| 令和元年 | 39 | 39 | 38 | 31 | 38 | 26 | 25 | 34 | 48 | 28 | 26 | 27 | 399 |
| 令和2年 | 36 | 33 | 35 | 25 | 29 | 45 | 38 | 65 | 55 | 41 | 58 | 39 | 499 |
| 令和3年 | 44 | 35 | 40 | 36 | 45 | 37 | 40 | 31 | 34 | | | | 342 |

(出典)厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」(暫定値)及び「自殺の統計：各年の状況」(確定値)を基に文部科学省において作成

第5回 自殺総合対策の推進に関する有識者会議 (ヒアリング資料) より引用

③子どもの命と人権を守るために

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1 防災・防犯 | 6 いじめ対応・人権意識の高揚 |
| 2 交通安全 | 7 教職員の不適切な対応を生まないために |
| 3 校内外の事故 | 8 通常級における特別な支援を要する児童生徒への対応 |
| 4 児童虐待 | 9 医療的ケア児への対応 |
| 5 自傷行為 | 10 性犯罪を生まないために |

活用イメージ：冊子及びデータを提供（市立各学校へ）
未然防止・有事の対応マニュアル
職員研修資料としての活用

令和3年度末 市立各学校へ一斉配布

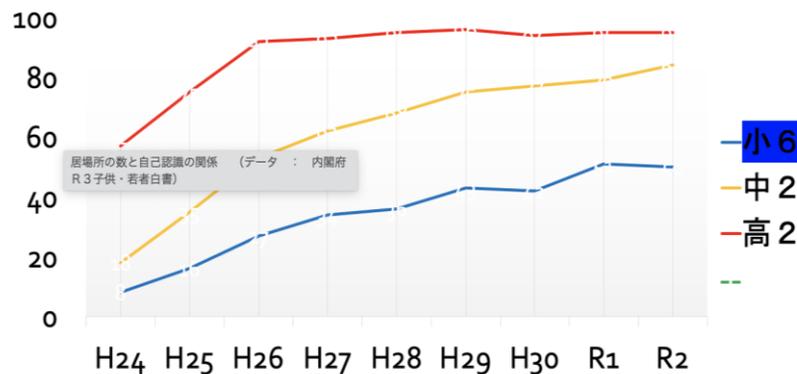
④情報モラル教育啓発講演

GIGAスクール・ネットいじめ・トラブル・被害の未然防止

- ・市内小中学校（児童生徒・保護者），高等学校で実施
- ・一人一台端末（PC）やスマートフォン，インターネットSNSの危険性，オンラインゲーム利用時のトラブル事例と正しい使い方について講話

スマートフォン所持率の推移

柏市学校警察連絡協議会 生活実態調査より



▶皆さんに知って欲しい「4つの危険」



- ①LINEトラブル（いじめ）
- ②SNSの危険
- ③オンラインゲームの危険
- ④脳への危険（影響）

「デジタルタトゥー」

一度投稿された記録はタトゥーのように消えず、
半永久的に残り続ける



⑤いじめ防止授業

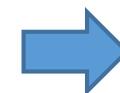


いじめの未然防止（脱傍観者）・早期対応に向けて

法的理解



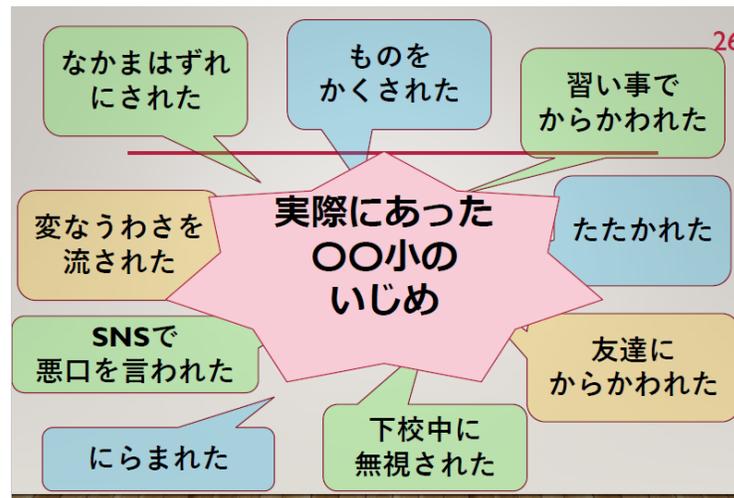
当事者意識



SOSの出し方

かんたんにすると…

いじめる側がたとえ「ふざけただけ」という意識でも、いじめられた側が「嫌だ」と思えば、いじめになり得ます。



いじめだと感じたら

- ①周りの人がいじめられていると思った時
- ②自分が困っている（いじめられている？）と思った時



大人に伝えよう！
SOSを出そう！



学校の先生

親（家族）

習い事の先生

⑥中学生によるいじめ防止サミット

生徒代表がいじめ防止について主体的に考え・各校で啓発

オンライン開催

真下麻里子弁護士による講話（NPO法人STOPいじめ！ナビ所属）
「いじめを法的視点から考える」



いじめ防止サミットを受けて

～いじめ防止啓発・中学校の取組～



生徒会によるオンライン授業形式
いじめ防止サミットで学んだことを報告



各クラス学級委員が意見を集約
→生徒一人一人がいじめについて考える

⑦生徒指導主任連絡協議会

講話『子どもたちの人権と教職員の役割』（児童生徒課長）

講話『子どものSOSを受け止める』（児童生徒課指導主事）

中学校区ごとにSSW・主任児童委員・警察を交え情報交換

「多様性」
を認めよう！

ダイバーシティ
diversity



⑧ 人権尊重担当者研修会

教育現場で活かそう

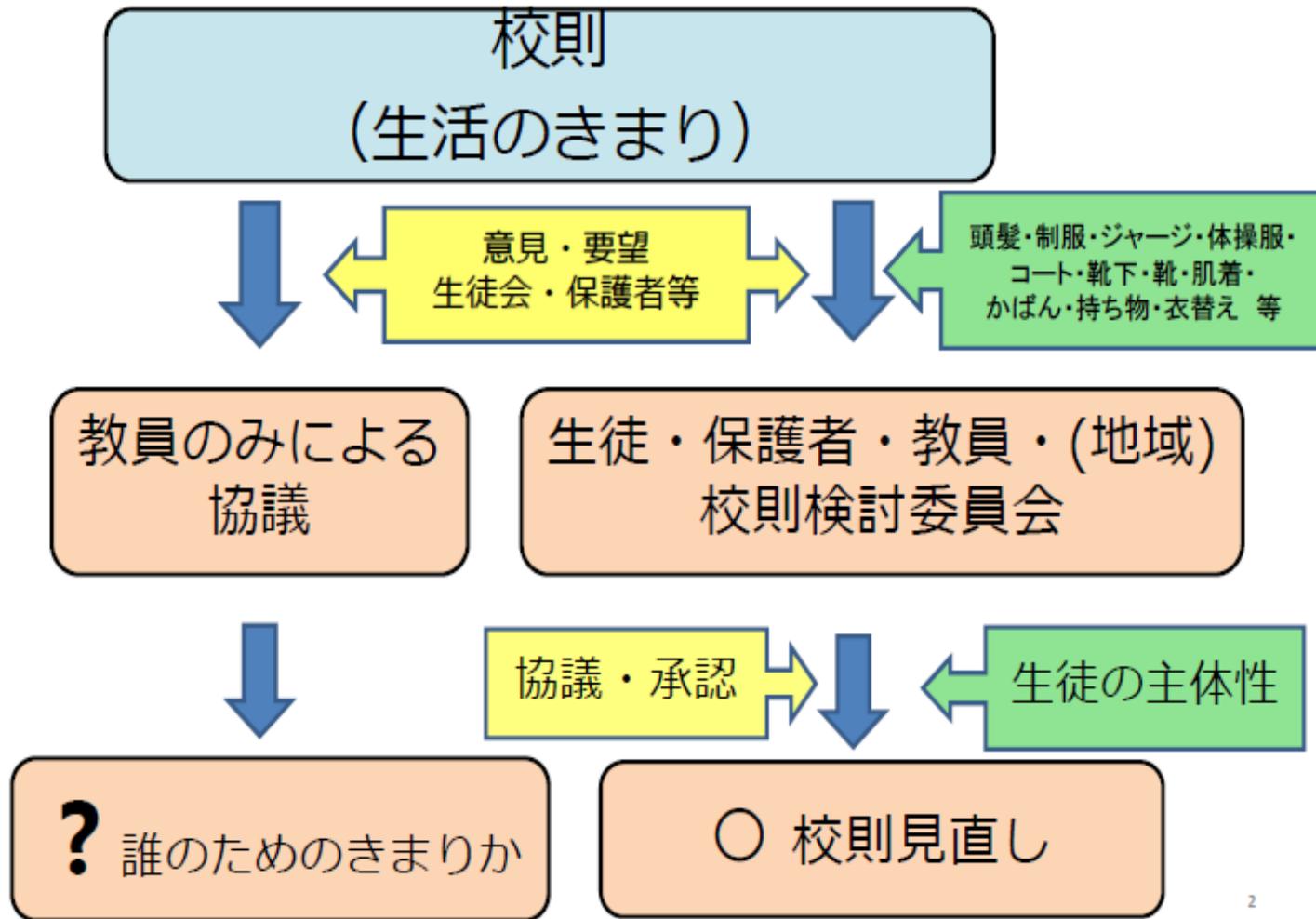
「リーガルマインド」と「子どもの人権」

弁護士 佐藤 香代 氏（東京弁護士会 子どもの人権委員会）

- ・ 教育現場でリーガルマインドが求められる背景
- ・ 「子どもの人権」 意見表明[※]権・人権侵害
- ・ 「教育の法化」 いじめ・不登校・合理的配慮

※ 人間社会の紛争を法律的に解決するために必要な、法律的思考能力（明確な定義はない）

⑨ 学校のきまり（校則等）の見直し



見直しの視点

- ・ 権への配慮
子どもの意見表明権
LGBTQ
- 生活 家庭への配慮
習機会の確保
- 制 越 縛 わっていないもの
制 定 根拠が明確か
公表 指摘に耐え うる の か

指摘事項 一例

- ・ 男女表記
- ・ 頭髪（ツープ ロク 三つ編み等）
- ・ 服装（着 肌着 運動靴）
- ・ 色指定
- ・ 持 物（制定の根拠）

開発中取組の進捗状況

① 一人一台端末を活用し毎日心身の状態を入力

『心の健康観察（シャボテン）』

② 人権について義務教育9年間で系統的に学ぶ

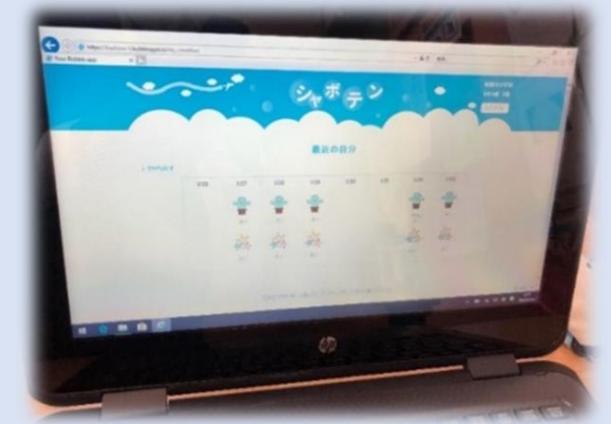
『柏市版人権教育プログラム
（チェンジヤーズ）』

① 『心の健康観察（シャボテン）』

『ストレスを抱えやすい環境下の子どもたちを
少しでも救うことに寄与する』

○主な目的

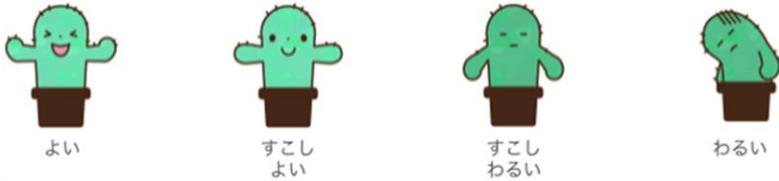
- ・ 自己の状態を知る力（メタ認知）を育む
- ・ 子どもたちの悩みの把握と早期対応
（いじめや悩みの深刻化 未然防止）
- ・ 子どもたちが「SOSを出せる」環境づくり



からだの状態

シャポテン

いまのからだのぐあいは？



心の状態

いまのきぶんは？

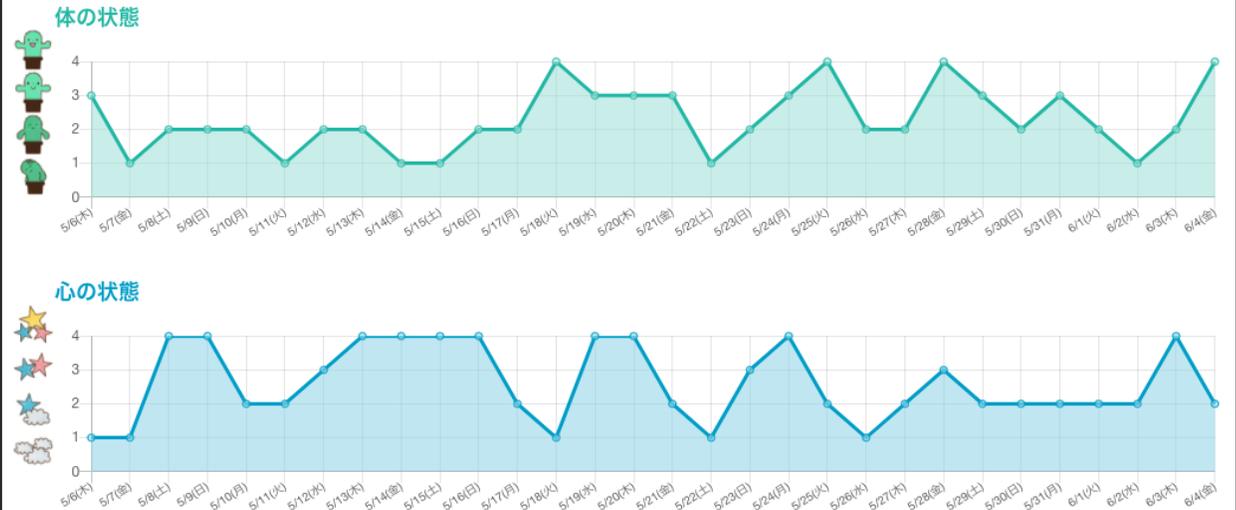


直近1ヶ月の状態の変化

シャポテン

<やりなおす

最近の自分



元気がでない時、お話ししたい時におしてね。だれとお話ししたい？

担任の先生 保健室の先生

周りの人にわからないように話かけてくれるよ

→相談したい教職員へつながる

【児童生徒】

- 1人1台端末を使用
- 朝の会の健康観察中に心身の状態を入力
- 不登校児童生徒は自宅から入力可能
- 話したいボタンで相談できる【SOSの発信】



【教員】

- 日常の児童生徒の心の変化のチェック
- 相談への対応



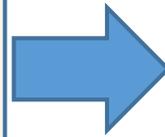
予防・未然防止

早期発見・早期対応

希望する小中学校にて検証

【課題となっていたこと】

- 相談を希望している子どもへの未対応



【改善策】

- 未対応アラート機能搭載
職員・教育委員会へ未対応をメールで通知
- 教育相談週間等、相談期間を設定可

【教職員の声】

- 今までも子どもが紙に書いて相談箱に入れる方法だったが、シャボテンの導入によって、「話したいボタン」という新しい相談窓口が増えた。結果、子どもの相談先の選択肢が増え、また子どもから相談を行う機会も増えた。
- 深刻な悩みを持つ子どもは直接カウンセラーに相談することが多い。しかしちょっとした悩みや日常で嫌なことがあった子どもは「話したいボタン」を活用する傾向にある。問題が深刻化する前に、早い段階で子どもの悩みに気付くことができるようになった。

現在の進捗状況

R2年度 1月～ 3月 第1回 学校現場にて検証



改良

R3年4月～11月

R3年度10月～2月 第2回 学校現場にて検証（今回）



改良

令和4年度中 希望する学校に先行導入

② 『柏市版人権教育プログラム (チェンジャーズ)』

『多様性を認め合える人間関係づくり』

○主な目的

①いじめの未然防止

⇒いじめの背景に人権に関わる様々な要素が絡んでいる

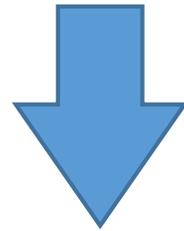
②人権について、義務教育9年間で系統的に学ぶ

(小学1年生から中学3年生)

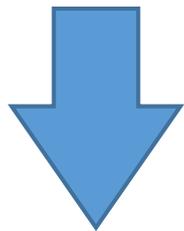
③自己の意思決定の機会

(葛藤から本音や思いを引き出し、意見の交流を行う)

義務教育 9 年間を通じた教材が順次完成



発達段階に合わせて教材を設定



現在

小学校低学年向け教材の開発

教材のテーマ（例）

（チェンジャーズ）



いじめといじり、どう違う？

中学生のジュンはちょっとおとなしい性格。ふとしたことから、お笑い芸人のモノマネをするようにいじられ始める。いじりがエスカレートする中、ジュンは、いじられキャラを受け入れるか悩む…。



一生懸命じゃいけないの？

学級委員長として一生懸命がんばる美月（みづき）は、ふざけるクラスメイトを強く注意したことで、皆から反感を買ってしまう。副委員長の小花田（おはなだ）は、美月とクラスメイトとの間で、自分がどうすべきか思い悩む…。



自分のSNSなら何を書いてもいい？

サッカー部の夏の大会は、オサムのPK失敗により終わってしまった。もやもやした気持ちを抱えるトモノリは、自分のSNSのプロフィール欄に、間接的にオサムの悪口を書く。書き込みをした瞬間は気が晴れたトモノリであったが…。



教材のテーマ（例）

（チェンジャーズ）



「決めつけ」が人を傷つける？

ある日、シオリが鞆につけていたマスコットがなくなった。クラスメイトは憶測でユミが盗ったのではないかと言う。母親からは「その子とは関わらない方がいい」と言われ、シオリはミユとの付き合い方に悩む…。



白熱するオンラインゲーム

マサルたち仲良し4人組は、オンラインゲームにハマっている。最初は楽しく遊んでいた4人だったが、白熱するあまり暴言が飛び交うようになる。そうした雰囲気が好きではないマサルは、ゲームが楽しくなくなってきていることに気づく…。

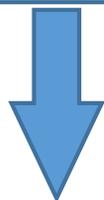


男女で遊んじゃいけないの？

小学生の美咲（女子）は、いつも男子たちとカードゲームで遊んでいる。ところが、同じクラスの女子グループはそんな美咲のことをよく思っていない。美咲は、女子グループに「男子じゃなくうちらと遊ぼう」と言われ困惑する…。

現在の進捗状況

R2年度 1月～3月 第1回 学校現場にて検証



改良・教材開発 R3年4月～11月

R3年度 12月～3月 第2回 学校現場にて検証



改良・教材開発

令和4年度中の導入を目指す